



# いぼりの里だより

月刊一第228号

2026年  
2月号

社会福祉法人回精福祉会

- ・いぼりの里（生活介護/就労継続支援B型）
- ・ワークいぼりの里（生活介護/就労継続支援B型）
- ・フレンドいぼりの里（生活介護/就労継続支援B型/就労移行支援）

ワーク、フレンド利用者募集中です

※ホームページは → Google「いぼりの里」で検索

Instagramは → ホームページから「iborinosato2」で閲覧

・地域活動支援センターいぼりの里

・日中一時支援事業いぼりの里

・グループホームいぼりの里

・障害者相談事業所いぼりの里

一般相談と計画相談受けたまわります



1月2日の日の出です

暦の上では春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続いています。みなさまいかがお過ごしでしょうか。今年は、2月3日火曜日が節分です。立春を迎え少しずつ春の訪れを感じられる時期でもあります。2月の稲沢市の催し物と言えば「国府宮はだか祭」で、今年は3月1日の日曜日に開催されますので、例年より多くの裸男が集まると見込まれています。42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円から、サラシのふんどしと白足袋をつけただけの数千の裸男が集まりますよ。

さて、厚生労働省は、1月22日に障害福祉サービス報酬を話し合う有識者会議（障害福祉サービス等報酬改定検討チーム）を開き、令和8年度の臨時改定の施策案を提示しました。新規に指定を受ける事業所の基本報酬を1%強～3%弱引き下げる方針です。時期は令和8年6月から施行で、費用の急増が続く就労継続支援B型、グループホーム、児童発達支援、放課後等デイサービスの4つ事業が対象で、報酬の引き下げを行います。このことはとても異例なことで、通常3年に一度の報酬改定が令和9年4月に行われる予定でしたが、今回、前倒しで臨時に行うこと、それも報酬の引き下げを行うことは、今だかつて例のないことで異例中の異例です。施設の数が増えたから抑制する？施設が過剰？

施設数が増えることで、今後は、利用者さまは「質の高いサービス」を選択する傾向が強くなり、事業所は人材の確保と高い専門性をもつことが重視され、施設の差別化がはじまります。このため、いぼりの里は令和8年度に障害福祉サービスの第三者評価を受けることとします。公正・中立な第三者機関が専門的かつ客観的な立場から評価することで、(1)個々の事業者が事業運営における問題点を把握し、サービスの質の向上に結び付ける。(2)福祉サービスの第三者評価を受けた結果が公表されることにより、利用者さまの適切なサービス選択に資するための情報になると考えます。いぼりの里は、「質の高い障害福祉サービスの提供」を目指していきます。どうぞよろしくお願いします。

最後に、いぼりの里1月の季節性インフルエンザの感染者は、利用者さま、利用者さまの家族、職員、職員の家族ともありませんでした。愛知県内の季節性インフルエンザ2026年1月12日(月曜日)から1月18日(日曜日)における、定点医療機関あたりの報告数は「13.84」で、減少傾向で警戒レベルに至らず、注意報止まりです。ひと安心です。しかし、1月下旬になり腹痛・下痢・嘔吐など「お腹の症状」が出ている利用者さまも見受けられます。胃腸風邪が流行っていますので、ご注意ください。インフルエンザでも同じような腹痛・胃腸症状が出ますので早めの病院受診をお勧めします。



令和8年2月1日 障害者相談事業所（理事） 上條 正木

## お知らせ <冬もののニット製品を頂きました>

稲沢市社会福祉協議会様から冬もののニット製品を頂きました。先着順で障害者施設事業所への配布で、数に限りがあり、単身者の利用者さまを優先してお配りしました。寒いこの時期にはとても有り難く感謝申し上げます。利用者さまのみなさんも早速着て喜んでいました。

